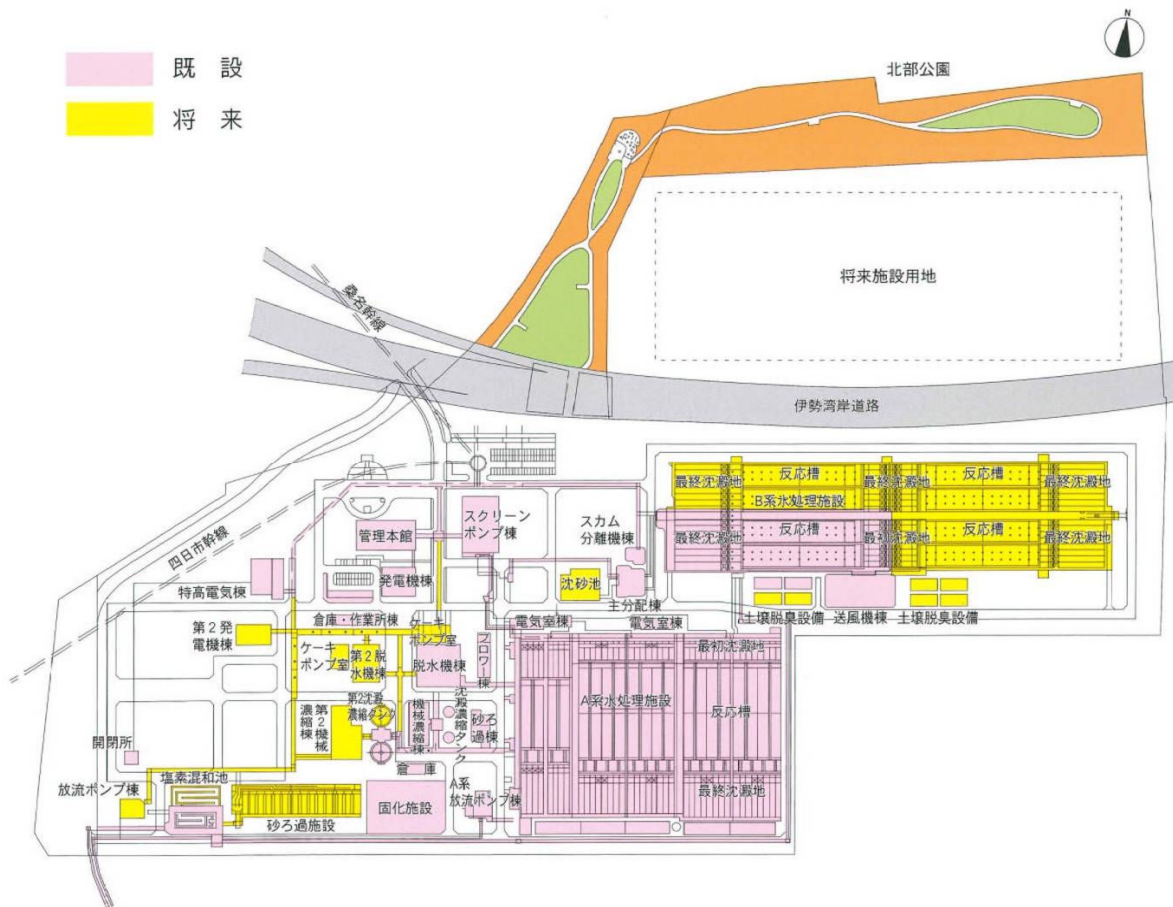


北勢沿岸流域下水道（北部処理区）

北部浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(1) 北部浄化センター施設配置図



計画概要

項目	区分	全体計画	認可計画(H24.3.28)
処理区域面積(ha)		11,900.2	9,289.51
処理区域内人口(人)		348,970	300,000
処理能力(m ³ /日最大)		200,000	169,100
処理方法		疑似嫌気好気法 嫌気無酸素好気法	
排除方式		分流式	
処理場敷地(ha)		37.89	37.89

経過の概要

S52.3.4	北勢沿岸流域下水道北部処理区都市計画決定
52.3.8	同都市計画法による事業認可
52.3.22	同下水道法による事業認可
56.12.22	浄化センター及び幹線管渠の事業着手
62.11.28	通水式
63.1.1	供用開始(四日市市、川越町の一部)
H2.9.1	供用開始(朝日町の一部)
3.1.10	供用開始(桑名市の一部)
6.4.1	供用開始(東員町の一部)
7.4.1	供用開始(大安町の一部)
8.4.1	供用開始(員弁町の一部)
9.3.31	供用開始(北勢町の一部)
9.10.1	供用開始(多度町の一部)
10.10.1	供用開始(藤原町の一部)
12.3.31	供用開始(菰野町の一部)
15.12.1	員弁郡員弁町と大安町、藤原町、北勢町が合併し、いなべ市となる。
16.12.6	桑名市と桑名郡多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

市町別の内訳

市町村名	計画処理面積(ha)	処理区域内人口(人)	計画処理水量(m ³ /日最大)
四日市市	3,219.2	120,760	70,088
桑名市	3,203.8	113,270	67,231
いなべ市	2,165.1	36,870	18,940
東員町	975.1	24,250	12,341
菰野町	1,479.0	32,620	17,738
朝日町	279.0	7,600	4,849
川越町	579.0	13,600	8,299
3市4町計	11,900.2	348,970	199,486

(2) 北部処理区幹線管きょ状況図 (供用開始延長: 累計延長)

9幹線 管径 300-2,000 mm 総延長 97.3 km(放流きょ2.2km含む)
(平成24年度 供用開始率 95%=90.3/95.1)

(四日市幹線)

管径 mm	延長 m	S.61年度	62	63	H.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
700-2,000	23,300		3,642	3,642	3,642	3,642	3,642	4,768	4,708	7,349	10,403	11,675	11,698	11,698	21,337	22,000	23,300
供用開始率			15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	20.2%	20.2%	31.5%	44.6%	50.1%	50.1%	50.2%	91.6%	94.4%	100.0%

(朝日幹線)

管径 mm	延長 m	H.1・2年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
700-1,000	12,700	2,088	2,088	2,088	2,088	3,554	3,554	3,554	3,614	3,614	5,300	6,358	6,358	6,457	6,817	11,815	12,700
供用開始率		16.4%	16.4%	16.4%	16.4%	28.0%	28.0%	28.0%	28.5%	28.5%	41.7%	50.1%	50.1%	50.8%	53.7%	93.0%	100.0%

(桑名幹線)

管径 mm	延長 m	H.1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
350(2条)-2,000	15,900		6,212	6,212	6,212	7,194	7,194	7,194	7,194	14,304	14,304	15,900
供用開始率			39.1%	39.1%	39.1%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	90.0%	90.0%	100.0%

(菟野幹線)

管径 mm	延長 m	H.10年度	11	12	13	14	15	24
450-800	7,100			2,086	2,086	2,865	3,203	3,203
供用開始率				29.4%	29.4%	40.4%	45.1%	45.1%

(川越幹線)

管径 mm	延長 m	H.10年度
600-700	800	800
供用開始率		100.0%

(東員幹線)

管径 mm	延長 m	H.6年度	7
1,150	500		500
供用開始率			100.0%

(北勢幹線)

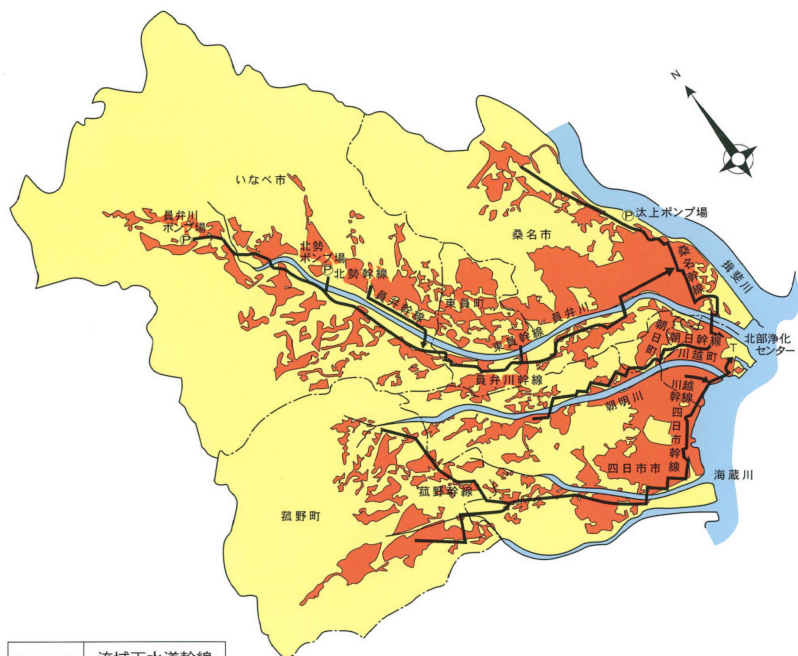
管径 mm	延長 m	H.10年度	11
350	800		800
供用開始率			100.0%

(員弁幹線)

管径 mm	延長 m	H.7年度	8	9	10	11	12
800	4,500		866	1,854	2,720	3,821	4,500
供用開始率			19.2%	41.2%	60.4%	84.9%	100.0%

(員弁川幹線)

管径 mm	延長 m	H.3年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
300-1,500	28,600		3,301	3,301	9,680	15,188	24,249	24,294	24,294	26,868	27,174	28,600
供用開始率			11.5%	11.5%	33.8%	53.1%	84.8%	84.9%	84.9%	93.9%	95.0%	100.0%



	流域下水道幹線
	処理区域
	中継ポンプ場
	行政区境界

(3) 施設計画と現況

形状区分 名称		形状寸法	全体計画	平成24年度現在		
				土木建築	機械電気	摘要
スクリーン		水路巾	4水路	4水路	4水路	
主ポンプ		34.5 m ³ /min × 270kW 69.0 m ³ /min × 450kW 69.0 m ³ /min × 520kW	2台 1台 2台 (内1台予備)	1棟	34.5 m ³ /min × 2台 (230kW) 69.0 m ³ /min × 3台 (450kW、520kW)	
最初沈殿池		L27.0 × W16.4m × 有効水深 3.0m L12.0 × W17.6m × 有効水深 3.0m L12.0 × W 8.8m × 有効水深 3.0m L16.5 × W18.4m × 有効水深 3.0m	休止 4池 8池 8池	2池 4池 8池 2池	2池 4池 8池 2池	
エアレーションタンク		L51.6 × W8.6 × 有効水深 5.7m L75.4 × W9.1 × 有効水深 5.7m L91.2 × W19.5 × 有効水深 5.5m	休止 16池 8池	4池 16池 2池	4池 16池 2池	
最終沈殿池		L38.0 × W16.6m × 有効水深 2.5m L29.3 × W17.6m × 有効水深 3.5m L32.4 × W8.8m × 有効水深 3.5m L42.0 × W18.4m × 有効水深 3.5m	休止 4池 8池 8池	2池 4池 8池 2池	2池 4池 8池 2池	
次亜塩素酸ソーダ貯留槽		1 m ³ × 2槽 6 m ³ × 2槽 11 m ³ × 2槽	6槽	1棟	1 m ³ × 2槽 6 m ³ × 2槽 5 m ³ × 1槽 10 m ³ × 2槽	
放流ポンプ		17.5 m ³ /min × 30kW 62.0 m ³ /min × 75kW	1台 3台		8.8 m ³ /min × 2台 17.5 m ³ /min × 1台 36.2 m ³ /min × 2台	
放流渠		L=2,200m 2条管 φ1,500mm ~φ2,800mm	2,200m	2,200m	—	
汚泥濃縮タンク		φ9.0m × 水深 4.0m φ15.5m × 水深 4.0m	2槽 2槽	2槽 1槽	2槽 1槽	
機械濃縮		常圧浮上濃縮機 25kg・DS/m ² ・hr 8 m ²	4台	1棟	3台	
脱水機		ベルトプレス ろ幅 3m ろ過速度 130kg/m/hr ろ過速度 160kg/m/hr	8台	1棟	5台 1台	
コンポスト		横型スクープ式 H2.0m × W3.0m × L20m	18槽	—	—	
送風機設備		130 m ³ /min × 200kW 110 m ³ /min × 170kW	4台 5台 (内1台予備)	1棟	65 m ³ /min × 1台 130 m ³ /min × 2台 150 m ³ /min × 1台 15 m ³ /min × 2台 90 m ³ /min × 2台	
自家発電機		ディーゼルエンジン 900PS 発電機 750kVA	5台	1棟	3台	
砂ろ過設備		1,500 m ³ /D~2,250 m ³ /D	4基	—	3基	
中継ポンプ場	北勢	ポンプ 予備発	2.8 m ³ /min × 22kW 60.0 KVA × 220V	2台 1台	マンホール	2台 1台
		ポンプ 予備発	0.67 m ³ /min × 5.5kW 42.5 KVA × 220V	2台 1台	マンホール	2台 1台
	汰上	ポンプ 予備発	5.2 m ³ /min × 37kW 4.6 m ³ /min × 37kW 200 KVA × 420V	2台 1台 1台 (内1台予備)	1棟	2台 3.3 m ³ /min × 1台 (22kW) 1台
幹線管渠		φ2,000mm~φ300mm	95.1km	90.3km	—	

(4)設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数		
ス ク リ ー ン ポ ンプ棟	ス ク リ ー ン	流入ゲート	W1,200×H1,200 制水扉 電動式バルブコントローラ	5.5	4		
		粗目スクリーン	W2,200 有効目幅100mm 取付角度75度 フラットバースクリーン	—	4		
		細目スクリーン (自動除塵機)	ダブルエンドレスチェーン式 レーキスクリーン 掻揚速度 3m/min	2.2	4		
		No.1スクリーンかす搬出機	シャフトレススクリーユコンベヤ W280×L9.5m 能力4t/h	5.5	1		
	リ ン	リ ン	し渣洗浄脱水機	スクリーユ洗浄式 W500×L5,500 能力3m ³ /h	5.5	2	
			スクリーンかす スキップホイス	ワイヤーロープ式 10m/min×26m バケツ容量0.3m ³	2.2	1	
	ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	スクリーンかす ホッパー	ロードセル2点方式 10m ³	2.2×2	1	
			機器搬入用 チェーンブロック	3t×11m 手動式ギヤードトオリ	—	1	
			角落とし用 チェーンブロック	1t×16m手動式ギヤードトオリ	—	1	
			スカム分離機	回転ドラムスクリーン φ800×w500 3m ³ /min 目3mm	0.75	1	
	ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	弁操作用空気圧縮機	48L/min 7kg/cm ²	0.4	1	
			ホイス	巻上横行軌条12m/min×25m	2.2	1	
				軌幅125mm	0.4	1	
			ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	脱臭装置	薬液洗浄塔(酸アルカリ洗浄漏れ網スクラバー) 処理量105m ³ /min □1,200×H5,800×2塔	—
脱臭ファン					FRP製ターボファン 105m ³ /min×200mmAq	15	1
脱臭薬液循環ポンプ					350L/min×18m×400V	3.7	2
薬液注入ポンプ					6~60L/min (硫酸用)	0.2	1
					12~120L/min (苛性ソーダ用)	0.2	1
ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	薬液貯留槽	FRP製 1m ³ ポリエチレン製 2m ³	—	2槽 2槽		
		薬液貯留槽攪拌機	375 rpm	0.2	2		
ン ポ ンプ棟	ン ポ ンプ棟	脱臭pH計	酸 アルカリ	—	2		
		ン ポ ンプ棟	ポンプ井中間ゲート	W1,400×H1,400 手動制水扉	—	1	
			ポンプ井排水ポンプ用チェーン ブロック	1t×13m 手動式ギヤードトオリ	—	2	
			汚水吸入弁	手動式 φ500	—	2	
汚水吸入弁	手動式 φ700		—	3			

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数		
スクリーンプンポンプ棟	ポンプ	汚水吐出弁	電動式バルブコントローラ φ500 (内手動仕切1)	2.2	2		
			電動式バルブコントローラ φ700	3.7	3		
	棟	汚水揚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ500 × 34.5m ³ /min	230.0	2		
			立軸渦巻斜流ポンプ φ700 × 69.0m ³ /min	450.0	1		
			立軸渦巻斜流ポンプ φ700 × 69.0m ³ /min	520.0	2		
	設備	床排水ポンプ	水中ポンプ φ50 × 0.2m ³ /min × 19m	2.2	2		
		天井クレーン	手動式 10t	—	1		
棟	備	搬出入用チェーンブロック	10t × 32m	—	1		
			手動式ギヤードトオリ				
送風機棟	送風機	送風機	湿式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転油膜式	0.2	3	
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.4m/s 回転巻取式	0.2	2	
				140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1	
				140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1	
	設備	送風機	送風機	15m ³ /min × 6,400mmAq × 1,740rpm ルーツブロワ	30.0	2	
				65m ³ /min × 6,400mmAq × 17,865rpm ターボブロワ	110.0	1	
				130m ³ /min × 6,400mmAq × 20,065rpm ターボブロワ	200.0	2	
				150m ³ /min × 6,790mmAq × 18,717rpm ターボブロワ	230.0	1	
				90m ³ /min × 6,900mmAq × 29,640rpm ターボブロワ	160.0	2	
	備	送風機	送風機吐出弁	φ150 電動式仕切弁	0.4	2	
				φ300 電動式仕切弁	0.4	4	
				φ250 電動式仕切弁	0.4	2	
	棟	備	冷却水ポンプ	0.3m ³ /min × 20m	2.2	2	
天井クレーン			手動式 2.8t	—	1		
			手動式 3.4t	—	1		
水処理	最	初沈	汚水流量計	電磁式 φ1,200 0~9,000m ³ /h	—	1	
				超音波式 φ800 0~4,000m ³ /h	—	1	
	初	沈	初沈流入ゲート	W500 × H500 手動式	—	40	
				W600 × H800 手動式	—	8	
	殿	沈	初沈	バイパスゲート	W1,000 × H1,000 手動式制水扉 × 2台	—	6
					W600 × H500 手動式制水扉 × 1台	—	
				W500 × H500 手動式制水扉 × 3台	—		
殿	沈	初沈	初沈汚泥掻寄機	フライト式ダブルチェーンコンベア0.6m/min (1連1駆動)	0.75 × 4	25	
				0.6m/min (2連1駆動)	1.5 × 2		
			(メイン)0.6m/min (4連1駆動)	0.4 × 4			
			(クロス)0.6m/min (1連1駆動)	0.4 × 4			
			0.6m/min (2連1駆動)	0.4 × 10			
			0.6m/min (4連1駆動)	0.4 × 1			
殿	沈	初沈	初沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ300 × 8台	0.2 × 48	48	
				電動シリンダー式パイプスキマー φ300 × 40台			

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
設 備	池 設 備	生汚泥引抜ポンプ	$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m}$ (No.1、2)	3.7×2	8	
			$\phi 100 \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 14.5\text{m}$ (A41、42)	3.7×2		
			$\phi 100 \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 13.7\text{m}$ (A21、22)	3.7×2		
			$\phi 100 \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m}$ (B-1)	5.5×2		
設 備	池 設 備	生汚泥引抜弁	$\phi 200 \times 3.5 \sim 7\text{kg}/\text{m}^2$ 空気作動式偏心弁 $\times 16$ 台		24	
			$\phi 150 \times 3.5 \sim 7\text{kg}/\text{m}^2$ 空気作動式偏心弁 $\times 8$ 台			
		初沈空気圧縮機	$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 670\text{L}/\text{min}$	5.5	6	
			$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 870\text{L}/\text{min}$	7.5		
設 備	池 設 備	池排水ポンプ	$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 5\text{m}$ (NO.01、A41)	2.2×2	4	
			$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m}$ (A21)	2.2×1		
			$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m}$ (B-1)	3.7×1		
水 反 応 槽 設 備	生 物 反 応 槽	全量投入可動堰	w600 \times H400 手動式可動堰 $\times 20$	—	22	
			W1500 \times H400 手動式可動堰 $\times 2$	—		
			ステップ投入可動堰	w600 \times H400 手動式可動堰	—	16
	生 物 反 応 槽	返送汚泥投入可動堰	W500 \times H400 手動式可動堰 $\times 4$ 台	—	4	
			エアレーションタンク 散気装置	80~100L/min枚 44組ステンレスホルダー付(1、2系)	—	4池分
				好気槽 散気装置(A4、5系)	—	8池分
	好気槽 散気装置(B系)	—		2池分		
	生 物 反 応 槽	エアレーションタンク 消泡装置	8L/min 消泡可動式	—	22池分	
			循環ポンプ	水中ポンプ $\phi 100 \times 1.7\text{m}^3/\text{min} \times 10.8\text{m}$	(1,2系) 3.7×8	27
				$\phi 200 \times 4.6\text{m}^3/\text{min} \times 8.8\text{m}$	(A2,3系) 7.5×8	
	$\phi 200 \times 5.1\text{m}^3/\text{min} \times 6.0\text{m}$	(A4,5系) 7.5×8				
	生 物 反 応 槽	風量空気調節弁	$\phi 300 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(1、2系)	—	4	
$\phi 250 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(A2から5系)			—	16		
$\phi 300 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(B-1系)			—	2		
生 物 反 応 槽	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機 可変速		108		
		A2、3系 8台 \times 8池	2.2×64			
		A4、5系 4台 \times 8池	3.7×32			
		A4、5系 4台 \times 8池	3.7×32			
生 物 反 応 槽	反応タンク攪拌機	槽外駆動式				
		B-1系 嫌気槽	2.2×4			
生 物 反 応 槽	反応タンク攪拌機	B-1系 無酸素槽	3.7×8			

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
理 設 備	最 終	終沈流入ゲート	W500×H500 手動式 W400×H400 手動式		48	
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.32m/min(1連1駆動) 0.3m/min(2連1駆動) (メイン)0.3m/min(4連1駆動) (クロス)0.3m/min(1連1駆動) 0.3m/min(2連1駆動) 0.3m/min(4連1駆動)	0.4×4 1.5×2 (A2,3系)0.4 ×4 (A2,3系)0.4 ×4 (A4,5系)0.4 ×8 (B-1系)0.4 ×2	24	
	沈	終沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ300×8台 電動シリンダー式パイプスキマー φ300×32台 電動シリンダー式パイプスキマー φ400×8台	(1,2系)0.2 ×8 (A2-5系) 0.2×32 (B-1系)0.2 ×8	48	
		二次処理 水槽ゲート	W500×H500 手動式制水扉	—	2	
	殿 池 設 備	余剰汚泥ポンプ	φ100×1m ³ /min×8m φ100×1m ³ /min×12m φ100×0.6m ³ /min×8m φ150×2m ³ /min×7m	3.7×2(1 系) 5.5×2(A2,3 系) 5.5×3(A4,5 系) 5.5×2(B-1 系)	9	
		返送汚泥ポンプ	φ150×2.7m ³ /min×11m φ150×2.9m ³ /min×11m φ190×8m ³ /min×8m φ250×9m ³ /min×9m φ300×11m ³ /min×13m	11×4 22×8 45×2	14	
	備	池排水ポンプ	φ100×1m ³ /min×6m(NO.01) φ150×3m ³ /min×8m(A21,A22) φ250×7m ³ /min×11m(B-1)	(1,2系)2.2 ×1 (A2-5系) 2.2×2 (B-1系)2.2 ×1	4	
		スカム移送ポンプ	φ100×1.8m ³ /min×15m(NO.01、02) φ150×3m ³ /min×8m(A21,A22) φ100×1.25m ³ /min×9m(B-1)	(1,2系)11 ×1 (A2-5系)11 ×2 (B-1系)5.5 ×2	5	
			終沈空気圧縮機	8.5kg/cm ² ×260L/min	2.2	2
	水	滅 菌	次亜塩貯留タンク液位計	次亜塩素酸ソーダ DC24V 4~20mA	—	5
次亜塩貯留槽 (次亜塩素酸ソーダ)			FRP製 1m ³	—	2	
			FRP製 6m ³	—	2	
			PE製 5m ³	—	1	
		FRP製 10m ³	—	2		

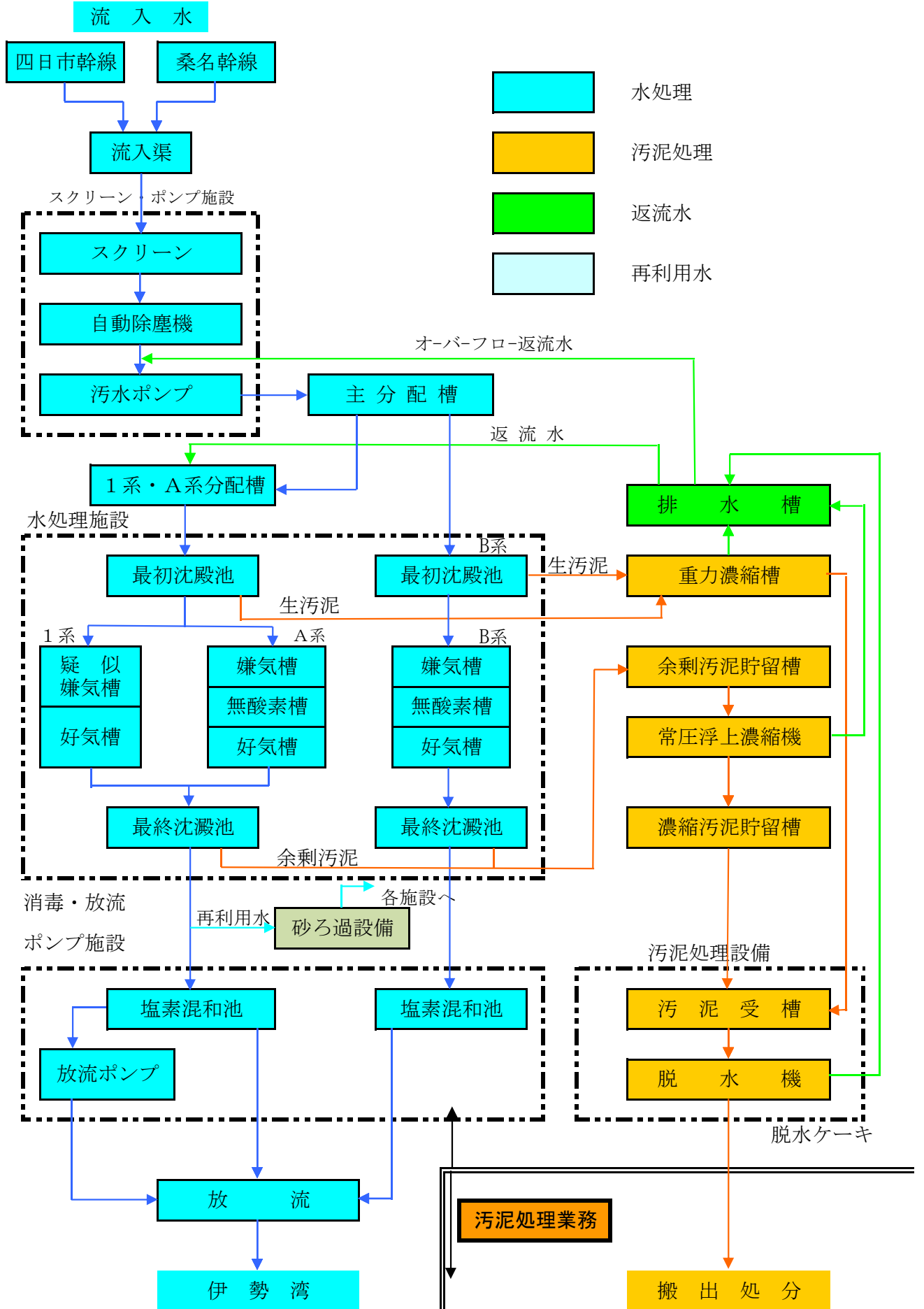
施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
処 理 設 備	設 備	次亜塩注入ポンプ	0.103L/min × 0.5MPa	0.4	2
			1.89L/min × 0.4MPa	0.4	1
			2.58L/min × 0.4MPa	0.4	1
			1.20L/min × 0.4MPa	0.2	2
			4.4L/min × 0.3MPa	0.4	2
			0.1L/min × 0.3MPa	0.2	1
	放 流 設 備	有機汚濁モニター	UV計	—	2
			放流流量計	DVFM面速式	—
		放流ポンプ井 流入ゲート	W1,400 × H1,700 制水扉	2.2	1
			電動式バルブコントローラ		
		放流ゲート	W1,400 × H1,700 制水扉	2.2	1
			電動式バルブコントローラ		
	放流ポンプ	水中ポンプ	φ 300 × 8.8m ³ /min × 5.7m	15.0	2
		立軸斜流	φ 350 × 17.5m ³ /min × 5.0m	30.0	1
		立軸斜流	φ 500 × 36.2m ³ /min × 5.0m	45.0	2
	流量計	(返送汚泥流量計)AC100V電磁流量計 ポンプ用 反応槽	—	—	4
			—	—	8
	P A C 設 備	PAC貯留槽	FRP製 15m ³	—	1
			FRP製 3m ³	—	1
			ポリエチレン製 10m ³ (A4、5系)	—	1
			PE製 15m ³ (B系)	—	1
PACポンプ		2.62L/min × 3kg/cm ² (移送用)	0.4	2	
		270mL/min 電磁式 (PAC注入用)	0.024	8	
	2.62L/min × 0.3MPa (PAC注入用) (A4、5系)	0.4	2		
	0.03~1.49L/min × 0.2MPa (PAC注入用) (B系)	0.4	2		
砂 ろ 過 棟 設 備	砂	二次処理水槽連通用弁	φ 400 手動仕切弁	—	2
		二次処理水槽		—	1
	ろ	砂ろ過原水ポンプ	φ 100 × 1.6m ³ /min × 17m	7.5	2
		原水ポンプ用ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 150 × 1.6m ³ /min	—	3
	過	砂ろ過逆洗ポンプ	φ 150 × 6.0m ³ /min × 18m	30.0	2
		砂ろ過水槽		—	2
	脱 水 機 棟 移 送 ポ ン プ	脱水機棟移送ポンプ	φ 200 × 4.9m ³ /min × 10m	11.0	2
		砂ろ過器	φ 3,100 二層ろ過 処理量 1,500m ³ /日	—	3
	除 湿 器	除湿器		—	1
		空気源装置	最高入口圧縮圧力9.5kg/cm ² 処理空気量830L/min	0.46	2

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
汚泥濃縮設備	重 力 濃 縮 設 備	濃縮槽	コンクリート製 254m ³ コンクリート製 754m ³	— —	2 1
		汚泥スクリーン	回転ドラムスクリーン 1m ³ /min × 目巾4mm	0.4	1
		汚泥引抜ポンプ	スクリュウ型 φ200 × 1m ³ /min × 12m	5.5	2
		汚泥引抜弁	φ200 × 0.2MPa 空気作動式偏心弁	—	1
		汚泥掻寄機	中央駆動懸重型 φ9m × 4m, 2~3m/min	0.4	2
			中央駆動支柱型 φ15.5m × 4m, 2.94m/min	1.5	1
		スカム受カゴ搬出機用クレーン	自立型ジブクレーン 0.5t × 5m	—	2
汚泥スクリーナー棟	重 力 濃 縮 設 備	汚泥スクリーン	スクリーン・脱水ユニット 2m ³ /min × 目巾2.5mm	1.9	1
		汚泥スクリーンし渣ホツパ	鋼板製角型カットゲート式 7m ³	1.5 × 2	1
		汚泥引抜ポンプ	一軸ネジ式 φ125 × 25~50m ³ /min × 20m	11.0	2
		汚泥引抜切替弁	φ150 × 0.2MPa 電動式偏心構造弁	0.75	1
		汚泥分配可動堰	W400 × H400 手動式可動堰	—	1
			W600 × H400 手動式可動堰	—	1
		生汚泥受槽攪拌機	水中ミキサ式 槽寸法W2.3m × L2.925m × D4.4m	1.5	2
		生汚泥移送ポンプ	吸込スクリュ付ポンプ φ100 × 0.6m ³ /min × 7.5m	2.2	2
	床排水ポンプ	水中ポンプ φ65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2	
	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製ターボファン 0.31~0.93L/min × 0.4MPa	0.2	1
		脱臭装置	カートリッジ式 20m ³ /min	—	1
		カートリッジ吊上装置	1t × 5.5m 手動式チェーンブロック	—	1
	機械濃縮棟	機 械 濃 縮 設 備	余剰汚泥貯留槽攪拌機	水中プロペラ式 容量100m ³	2.4
汚泥破碎機			立軸2軸回転式(管設置型) φ250	3.7	1
汚泥供給ポンプ			一軸ネジ式ポンプ φ150 × 25~67m ³ /h × 20m	22.0	3
空気圧縮機			除湿器搭載型 600L/min × 8.5kg/cm ²	5.5	2
凝集剤溶解槽			鋼板製円筒槽3.6m ³ ミキサー:立形プロペラ式	2.2	2
凝集剤供給機			可度連続定量供給機 0.15~1.0L/min	0.2	2
凝集剤注入ポンプ			一軸ネジ式ポンプ φ20 × 150~600L/h × 20m	0.4	3
起泡助剤希釈槽			鋼板型円筒槽(投入ホツパ式)900L ミキサー	0.1	2
起泡助剤注入ポンプ			ダイヤフラム式定量ポンプ φ15 × 167cc/min × 20m	0.2	3
浮上濃縮装置			常圧浮上濃縮装置 8m ²	9.2	3
脱気機			鋼板型円筒槽 2.4m ³	1.5	2
砂ろ過給水タンク			FRP製パネル式タンク 30m ³	—	1
砂ろ過給水ユニット			圧力タンク式 自動給水装置 0.65m ³ /min × 20m	5.5	1
濃縮汚泥貯留槽攪拌機			立型パドル式 50m ³ × 2槽	3.7	4
濃縮汚泥移送ポンプ			一軸ネジ式ポンプ φ150 × 60m ³ /h × 20m	22.0	2

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
汚泥脱機棟	汚泥	汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 $\phi 200$	—	2	
		薬品コンテナ	角形コンテナホツパ $0.5m^3$	—	8	
		薬品定量フィーダー	可変式容積形定量供給庫 $0.25\sim 1.0L/min$	0.4	4	
		薬品溶解タンク	鋼板製立形円筒槽 $\phi 2.5m \times 2.5H \times 10m^3$	5.5	4	
		薬液供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ $\phi 50 \times 4m^3/h \times 13mH$	1.5	6	
	脱	脱	汚泥受槽攪拌機	立軸パドル式 攪拌容量 約 $70m^3$ 以上	15.0 5.5	2 2
			汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ $\phi 100 \times 20m^3/h \times 23mH$ 一軸ネジ式ポンプ $\phi 100 \times 15m^3/h \times 21mH$	5.5 5.5	4 2
	水	水	汚泥脱水機	ベルトプレス(高効率形)ろ布巾 $3.0m \ 130kg-ds/m \cdot h$	7.4	4
				$160kg-ds/m \cdot h$	8.2 8.2	1 1
	機	設	ケーキ搬出機	20° トラフ3ローラベルトコンベア W600 \times L24500	0.8	1
スクリュウコンベヤ(シャフトレス) $\phi 315 \times 8.1m^3/h \times L25000$				7.5	1	
棟	備	ケーキホツパ	鋼板製電動式 $15m^3$	3.7	2	
		ろ布洗淨水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $80A \times 0.9m^3/min \times 70mH$	18.5	5	
汚泥脱機棟	汚泥脱機棟	排水槽攪拌機	立軸パドル式 $90m^3$	11.0	4	
		返流水ポンプ	スクリュウ遠心形汚泥ポンプ $\phi 100 \times 1.5m^3/min \times 16mH$	7.5	4	
		高架水槽	角形パネルタンク $20m^3$	—	2	
		高架水槽揚水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $150A \times 3.5m^3/min \times 28mH$	30.0	2	
		生物脱臭装置	充填式生物脱臭塔 $110m^3/min$	—	1	
	水脱機棟	ミストセパレータ	慣性衝突形 $110m^3/min$	—	1	
		脱臭ファン	ターボファン $55m^3/分 \times 200mmAq$	5.5	2	
		No.2薬液貯留槽(苛性ソーダ)	FRP製円筒タンク $1m^3$	0.2	2	
		苛性ソーダ注入ポンプ	流量可変定量ダイヤフラムポンプ $15A \times 12\sim 120cc \times 10kg/cm^2$	0.2	1	
		活性炭吸着塔	カートリッジ式 $55m^3/分$	—	2	
土壌脱臭設備	土壌	脱臭ファン	片吸込ターボファン $80m^3 \times 150mmAq$	(1系,A2系) 5.5 \times 4	4	
			片吸込ターボファン $90m^3 \times 1.47kpa$	(A3系,A4系) 5.5 \times 4	4	
	脱臭床給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $40A \times 0.2m^3/min \times 22m$	(1系-A4系) 2.2 \times 2	2		
	ストレーナ	自動洗淨ストレーナ $50A \times 0.2m^3/min$	(1系-A4系) 0.4	1		
	臭	臭	排水ポンプ	水中汚水ポンプ $65A \times 0.34m^3/min \times 10m$	(1系,A2系) 2.2 \times 2	2
				水中汚水ポンプ $65A \times 0.57m^3/min \times 7m$	(A3系,A4系) 2.2 \times 2	2
	備	備	土壌脱臭床	$80m^3/min$ $190m^2 \times 4床$ (1系、A2系)	—	2
$90m^3/min$ $190m^2 \times 6床$ (A3、A4、A5系)				—	3	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
汰 上 ポ ン プ 場	ス ク リ ー ン 設 備	流入ゲート	W500×H600 鋳鉄製制水扉 電動式バルブコントローラ	1.5	2
		粗目スクリーン	W700 有効目幅100mm 取付角度60度 フラットバースクリーン	—	2
		破碎機	水路設置型 8.4m ³ /min 水路設置型 5.85m ³ /min	3.7 3.7	1 1
		流出ゲート	W500×H600 鋳鉄製制水扉 手動式	—	2
		搬出用ホイスト	2t×18m 電動横行ホイスト	3.7 0.4	1
		破碎機用 チェーンブロック	1t×9m ギヤードロリ	—	1
		脱 臭 設 備	脱臭装置	活性炭吸着塔 処理量20m ³ /min □1,400×H2,650×1塔	—
	脱臭ファン		ターボファン 20m ³ /min × 180mmAq	1.5	1
	脱臭装置用 チェーンブロック		0.5t×4.5m ギヤードロリ	—	1
	ポ ン プ 設 備	汚水ポンプ用仕切弁	手動外ねじ仕切弁 φ200	—	2
			手動外ねじ仕切弁 φ150	—	1
		汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ200×5.2m ³ /min×24m	37	2
			着脱式水中ポンプ φ150×3.3m ³ /min×22m	22	1
		ポンプ井攪拌機	水中形 9.0m ³ /min	2.4	1
水中形 4.9m ³ /min			1.5	1	
ポンプ井仕切ゲート		□550 鋳鉄製手動制水扉	—	1	
圧送管仕切弁	手動外ねじ仕切弁 φ500	—	1		
	ポンプ用 チェーンブロック	2t×5m ギヤードロリ	—	1	
	自家発電設備	自家発電機	発電機200kVA×420V×60Hz ディーゼル機関220kW(300PS)	200(kVA)	1
北勢幹線マン ホールポンプ 場	除塵カゴ	1000×500×210 ステンレス製	—	1	
	汚水ポンプ用仕切弁	手動弁 φ150	—	2	
	汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ150×2.8m ³ /min×22.8m	22	2	
	自家発電機	発電機60kVA×220V×60Hz ディーゼル機関59.6kW(81PS)	60(kVA)	1	
員弁川幹線マン ホールポン プ場	汚水ポンプ用仕切弁	手動ボール弁 80A	—	2	
	汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ80×0.67m ³ /min×13.4m	5.5	2	
	自家発電機	発電機42.5kVA×220V×60Hz ディーゼル機関44.9kW(61PS)	42.5(kVA)	1	

(5) 水処理フローシート(北部浄化センター)



(6) 水質管理状況

ア 水質管理状況の概況

(ア) 流入水量

24年度における日平均流入水量は、92,039m³/日で、23年度の90,511m³/日と比較すると、1,528 m³/日の増加であった。過去5年間の流入水量の変動は、18年度から19年度は、301 m³/日の増加、19年度から20年度は、3,697 m³/日の増加、20年度から21年度は1,847 m³/日の増加、21年度から22年度は635 m³/日の増加、22年度から23年度は4,344 m³/日の増加となっている。

(イ) 流入水質(BOD、COD、SS、T-N、T-P、有害項目)

24年度における平均流入水質について、BOD濃度は180 mg/ℓ (過去5年間年平均値160mg/ℓ)、COD濃度は100 mg/ℓ (過去5年間年平均値90 mg/ℓ)、SS濃度は200 mg/ℓ (過去5年間年平均値190mg/ℓ)、全窒素濃度は27 mg/ℓ (過去5年間年平均値26 mg/ℓ)、全りん濃度は3.3 mg/ℓ (過去5年間年平均値3.2 mg/ℓ)と過去5年間の年平均値を上回っている。

有害項目については、年間を通じてアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度、並びにダイオキシン類を除いた項目で報告下限値未満であった。ダイオキシン類については、年1回の測定で0.67pg-TEQ/ℓであった。

(ウ) 放流水質(A系)(BOD、COD、SS、T-N、T-P、有害項目)

24年度における平均処理水質について、BOD濃度は1.8 mg/ℓ (過去5年間年平均値1.8 mg/ℓ)、COD濃度は7.1 mg/ℓ (過去5年間年平均値7.1 mg/ℓ)、SS濃度は2 mg/ℓ (過去5年間年平均値2 mg/ℓ)、また全窒素濃度は6.9 mg/ℓ (過去5年間年平均値6.9 mg/ℓ)、全りん濃度は0.5 mg/ℓ (過去5年間年平均値0.5 mg/ℓ)と過去5年間の年平均値と同じ値であった。

有害項目については、年間を通じてアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度、並びにダイオキシン類を除いた項目で報告下限値未満であった。ダイオキシン類については、年1回の測定で0.00080pg-TEQ/ℓであった。

(エ) 放流水質(B系)(BOD、COD、SS、T-N、T-P、有害項目)

B系処理施設は23年10月中旬より運転を始めた。24年度における平均処理水質について、BOD濃度は1.7 mg/ℓ (過去5年間年平均値1.8 mg/ℓ)、SS濃度は1 mg/ℓ (過去5年間年平均値2 mg/ℓ)、全りん濃度は0.4 mg/ℓ (過去5年間年平均値0.5mg/ℓ)と過去5年間年平均値を下回り、COD濃度は7.4 mg/ℓ (過去5年間年平均値7.1mg/ℓ)、全窒素濃度は7.2 mg/ℓ (過去5年間年平均値6.9mg/ℓ)と過去5年間の年平均値を上回った。

有害項目については、年間を通じてアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度を除いた項目で報告下限値未満であった。ダイオキシン類については、年1回の測定で0.00062pg-TEQ/ℓであった。

(オ) 放流先の環境保全に係る運転管理

窒素、りん対策のため、9年度からは、標準活性汚泥法による既存施設を疑似

嫌気好気法に施設改良して運転を行い、10年度からは、嫌気-無酸素-好気法による施設を増設し、運転を行っている。さらに23年度10月より新たにB系処理施設を設置した。

放流先の環境保全に寄与するため、下記5項目については、排水基準値よりも厳しい自主管理値を設定している。A系放流水の水質については、COD濃度およびSS濃度が、大雨による流入水の増加のため終沈の汚泥の舞い上がりが発生したことにより自主管理値の最大値を超えた。(BOD濃度最大 3.8 mg/ℓ、75%値2.0mg/ℓ、COD濃度最大15 mg/ℓ (10/1)、75%値7.5mg/ℓ、SS濃度最大25mg/ℓ (10/1)、75%値3mg/ℓ、全窒素濃度最大 8.9mg/ℓ、75%値7.4mg/ℓ、全りん濃度最大0.9mg/ℓ、75%0.7mg/ℓ。なお、各項目の平均値については前述のとおり)

B系放流水の水質については、全窒素濃度の75%値が自主管理値を超えたが、それ以外はそれぞれの値以下であった。(BOD濃度最大 4.4 mg/ℓ、75%値2.0mg/ℓ、COD濃度最大9.0 mg/ℓ、75%値7.8mg/ℓ、SS濃度最大5mg/ℓ、75%値2mg/ℓ、全窒素濃度最大 10mg/ℓ、75%値7.9mg/ℓ、全りん濃度最大 0.9mg/ℓ、75%値0.6mg/ℓ、なお、各項目の平均値については前述のとおり)

法令の排水基準値等

項目	法令の排水基準値	自主管理値		
		最大値	75%値	平均値
BOD (mg/ℓ)	15	8.0	4.5	4.0
COD (mg/ℓ)	25(20)	12	8.3	8.0
SS (mg/ℓ)	40	10	4	3
全窒素 (mg/ℓ)	13	10	7.6	7.2
全りん (mg/ℓ)	1.4	1.2	0.7	0.5

*上表の()内の数値は日間平均値。

イ 月別水質管理状況

4月

降雨量は120.5mm、月平均流入水量は93,902m³/日であり、3月と比べて3,602m³/日増加した。

最大流入水量は11日の130,617m³/日であった。

大腸菌群数は、A系が最高130個/ml、平均67個/mlであった。B系が最高93個/ml、平均52個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は1日にA系は0.1mg/ℓから0.5mg/ℓに、B系は0.1mg/ℓから0.6mg/ℓに変更し運用した。水処理は全リン濃度がA系、B系ともにやや高く、全窒素濃度がA系でやや高かったが、他はおおむね良好であった。

5月

降雨量は68.0mm、月平均流入水量は89,624m³/日であり、4月と比べて4,278m³/日減少した。最大流入水量は15日の110,463m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高260個/ml、平均100個/mlであった。B系は最高130個/ml、平均

62個/ml であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、A系は0.5mg/l、B系は0.6mg/l で運用した。B系のりん処理を改善するため、初沈を一部バイパスして反応槽へ流入させた。水処理は、全りん濃度が、A系が高く、B系はやや高かったが、他は良好であった。

6月

降雨量147.0mm、月平均流入水量は100,091m³/日であり、5月と比べて10,467m³/日増加した。19日、流入水量の増加により、最初沈殿池の空き池に貯留し、かつ流入ゲートの操作による管内貯留を実施した。最大流入水量は22日に159,771m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高120個/ml、平均64個/ml であった。B系は最高66個/ml、平均50個/ml であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、A系は0.5mg/l、B系は0.6mg/l で運用した。先月から引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈を一部バイパスして反応槽へ流入させた。水処理は、全りん濃度がA系が高く、B系はやや高かったが他は良好であった。

7月

降雨量は243.0mm、月平均流入水量は102,671m³/日であり、6月と比べて2,580 m³/日増加した。最大流入水量は1日に146,209m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高98個/ml、平均35個/ml であった。B系は最高210個/ml、平均84個/ml であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は11日にA系は0.5mg/l から0.9mg/l に、B系は0.6mg/l から0.9mg/l に変更した。引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈のバイパス量を増やして反応槽へ流入させた。水処理は、全りん濃度が、A系はやや高かったが、他はおおむね良好であった。

8月

降雨量は85.0mm、月平均流入水量は90,600m³/日であり、7月と比べて12,071m³/日減少した。最大流入水量は11日に107,572 m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高42個/ml、平均22個/ml であった。B系は最高120個/ml、平均46個/ml であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.9mg/l で運用した。引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈のバイパスゲートを全開にして運用した。水処理は、全窒素濃度が、B系はやや高かったが、他はおおむね良好であった。

9月

降雨量は327.0mm、月平均流入水量は97,124m³/日であり、8月と比べて6,524m³/日増加した。30日台風17号の接近に伴い流入水量が増加したため、最初沈殿池の空き池に貯留しかつ流入ゲートの操作を行い、管内貯留を実施した。しかしさらに流入水量が増加したため、併用処理を実施した。最大流入水量は30日に166,260 m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高38個/ml、平均22個/ml であった。B系は最高260個/ml、平均52個/ml であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.9mg/l で運用した。引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈のバイパスゲートを全開にして運用した。水処理は、全窒素濃度が、B系はやや高かったが、他はおおむね良好であった。

10月

降雨量は81.0mm、月平均流入水量は92,607m³/日であり、9月と比べて4,517m³/日減少した。最大流入水量は1日に169,830m³/日であった。9月30日夕方から1日の早朝まで併用処理を実施した。大腸菌群数は、A系は最高240個/ml、平均150個/mlであった。B系は最高460個/ml、平均210個/mlであった。2日から放流水の残留塩素濃度を低減させるため消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率を0.9mg/lから0.1mg/lに変更した。引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈のバイパスゲートを全開にして運用した。水処理は、A系のりん濃度がやや高かったが、他はおおむね良好であった。

11月

降雨量は74.0mm、月平均流入水量は87,508m³/日であり、10月と比べて5,099m³/日減少した。最大流入水量は11日に101,562m³/日であった。大腸菌群数は、A系が最高240個/ml、平均180個/mlであった。B系が最高380個/ml、平均200個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/lで運用した。引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈のバイパスゲートを40%開けて運用した。水処理は、全窒素濃度が、B系が高い状態が続いた。COD濃度が、B系がやや高かった。他はおおむね良好であった。

12月

降雨量は93.5mm、月平均流入水量は90,668m³/日であり、11月と比べて3,160m³/日増加した。最大流入水量は30日に118,268m³/日であった。

近年、年末年始の窒素流入負荷の増加により、放流水の水質が悪化する傾向にあるが、この予防措置として負荷を減少させることを目的として28日から次の対策を実施した。最初沈殿池の未使用池に雑用水を溜め、その水をオーバーフローさせることにより流入負荷を減少させた。また汚泥の脱水作業終了後の負荷の少ない、ろ布洗浄水を継続して返流水としてスクリーンポンプ棟へ送った。また汚泥返送率を5%上げて脱窒に努めた。さらに省エネ対策の一環として実施していた反応槽攪拌機の間欠運転を中止し、連続運転に変更した。さらにA、B系反応槽の目標DO濃度を1.8mg/l以上で、目標MLSS濃度を2,000mg/l以上になるように運転した。これにより31日まで全窒素、全りんの濃度上昇は見られなかった。

大腸菌群数はA系で最高280個/ml、平均140個/mlであった。B系は最高300個/ml、平均140個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/lで運用した。引き続きB系のりん処理を改善するため、初沈のバイパスゲートを30%開けて運用した。水処理は、全窒素濃度が、B系が高く、A系がやや高かったが、他はおおむね良好であった。

1月

降雨量は51.0mm、月平均流入水量は87,349m³/日であり、12月と比べて3,319m³/日減少した。最大流入水量は14日に104,549m³/日であった。昨年12月28日から引き続き窒素濃度対策を実施した。2日から全窒素濃度が上昇し、11mg/lを超えたため、A系については、初沈を逆洗水にてオーバーフローさせて反応槽へ流入させた。B系については、初沈のバイパスゲートを全閉し、循環ポンプのエキセントリックバルブの開度を上げ、循環水を増加

させた。全窒素濃度が12 mg/ℓ を超えることはなかった。その後平常値に戻ったため、放流水悪化の予防措置のうち、5日、流入水負荷軽減のために行っていた汚泥脱水終了後のろ布洗浄水運転の継続、及び最初沈殿池未使用池からの返流水のオーバーフローを停止、また、返送汚泥返送率を元に戻した。

大腸菌群数はA系で最高220個/ml、平均130個/mlであった。B系で最高280個/ml、平均150個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/ℓ で運用した。B系のりん処理を改善するため、初沈のバイパスゲートを30%開けて運用した。水処理は全窒素濃度が、B系が高く、A系がやや高かったが、他はおおむね良好であった。

2月

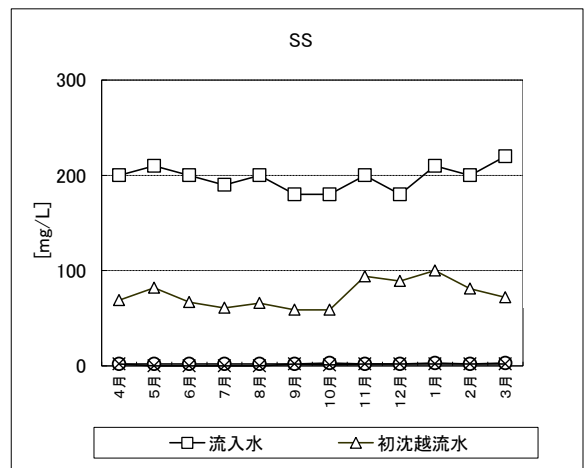
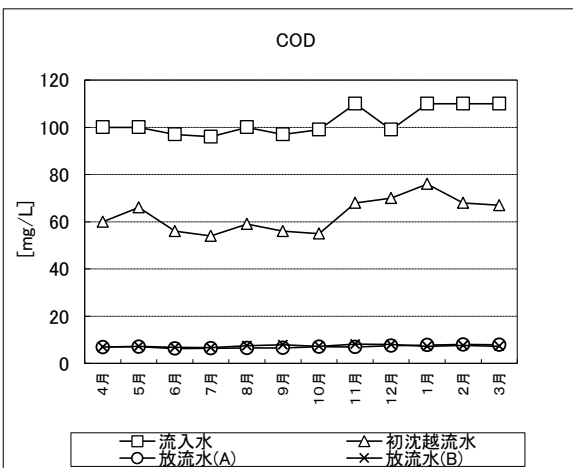
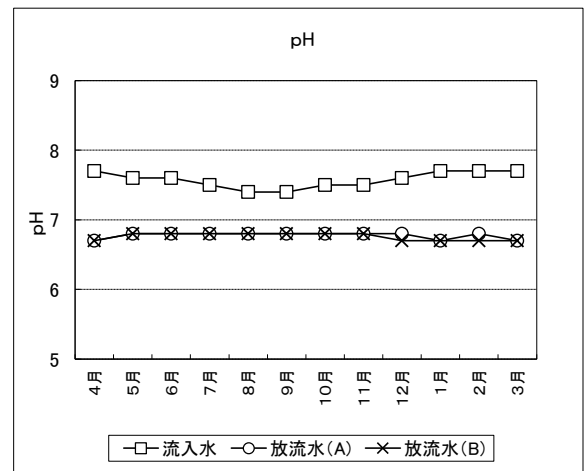
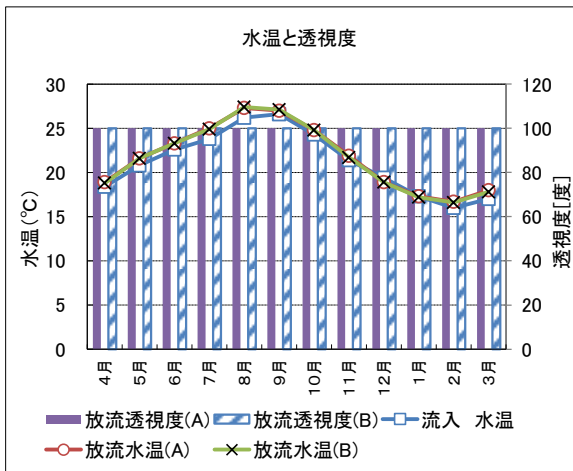
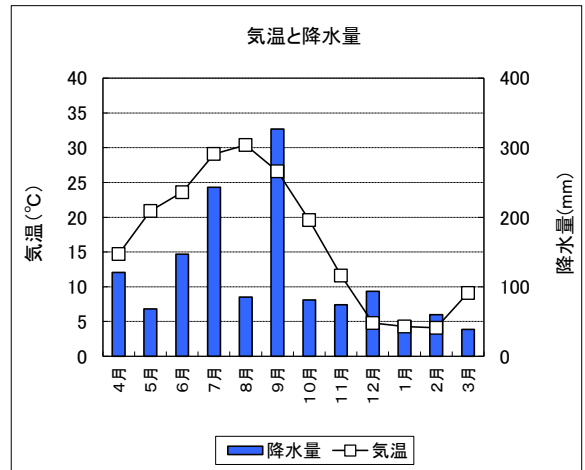
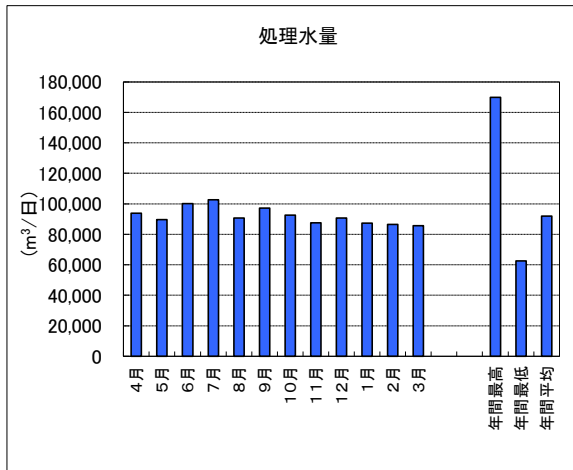
降雨量は60.0mm、月平均流入水量は86,511m³/日で、1月と比べて838m³/日減少した。最大流入水量は23日に106,863m³/日であった。

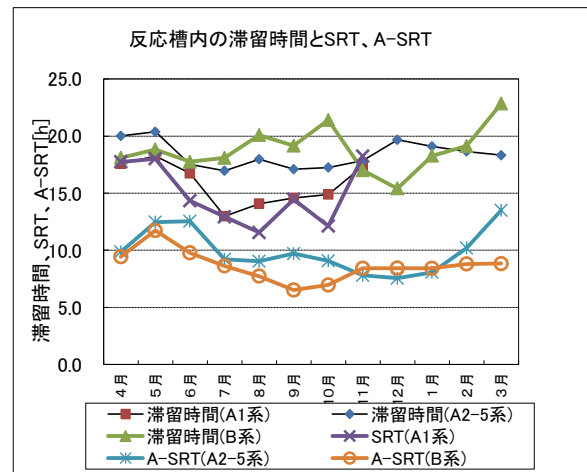
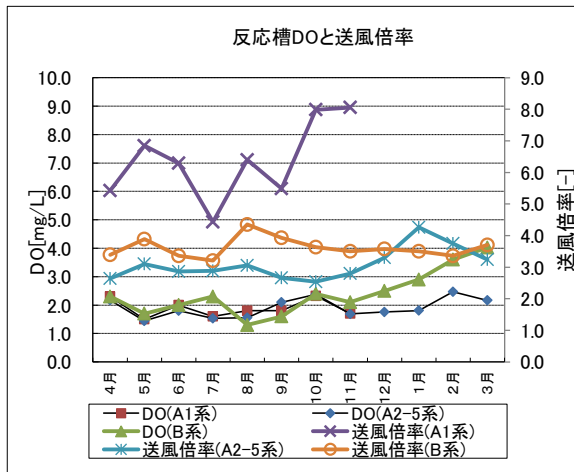
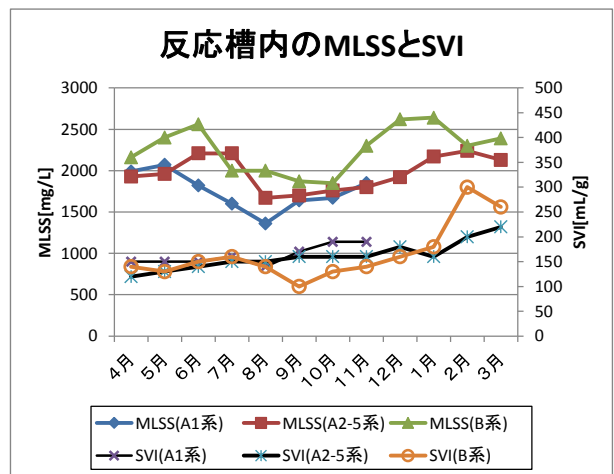
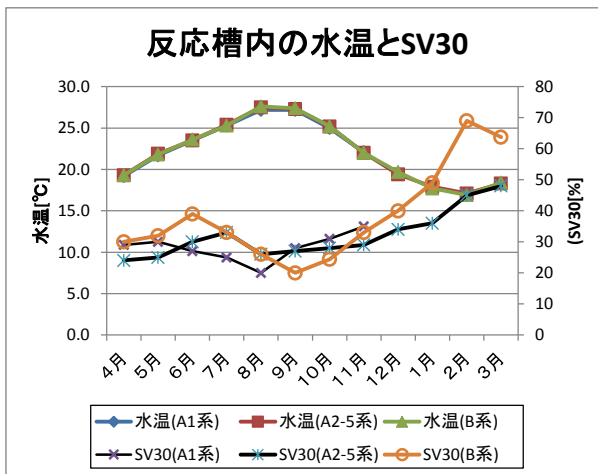
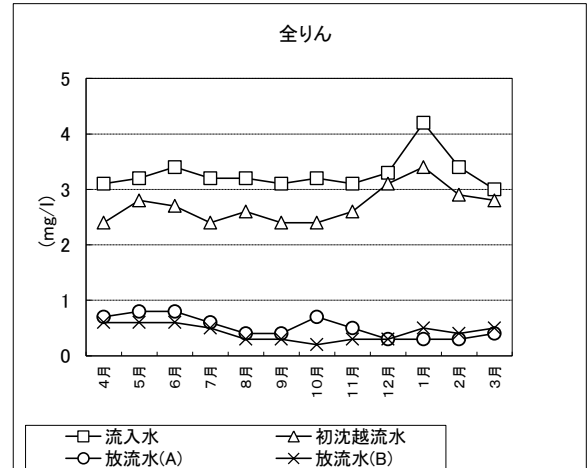
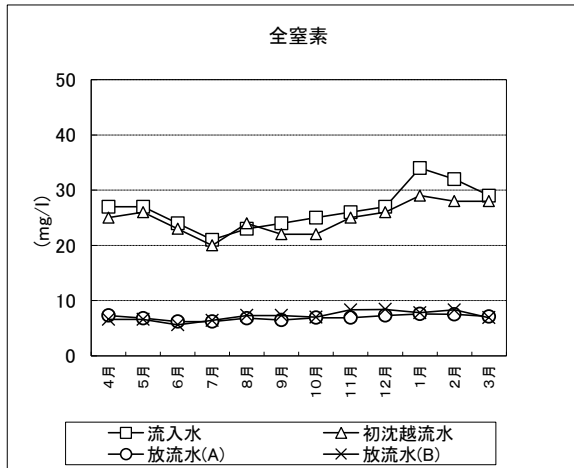
大腸菌群数はA系で最高410個/ml、平均240個/mlであった。B系で最高150個/ml、平均84個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/ℓ で運用した。25日にB系初沈越流板を撤去し、バイパス運転を終了した。水処理は、全窒素濃度が、B系が高く、A系がやや高かったが、他はおおむね良好であった。

3月

降雨量は38.5mm、月平均流入水量は85,612m³/日であり、2月と比べて899m³/日減少した。最大流入水量は6日に99,577 m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高160個/ml、平均130個/mlであった。B系は最高190個/ml、平均130個/mlであった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/ℓ で運用した。水処理は、A、B系ともにおおむね良好であった。





備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月間平均値の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。

平成 24 年度 北部浄化センター 下水処理年報

○汚水処理 (注) 不用欄の削除不可 No. 1/2

項 目		月												計	備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
汚水処理水量	流入水量 [m ³]	2,817,047	2,778,353	3,002,728	3,182,801	2,808,596	2,913,711	2,870,811	2,625,226	2,810,699	2,707,823	2,422,304	2,653,961	33,594,060	—
	日平均流入水量 [m ³ /日]	93,902	89,624	100,091	102,671	90,600	97,124	92,607	87,508	90,668	87,349	86,511	85,612	—	年平均 92,039
	日最大流入水量 [m ³ /日]	130,617	110,463	159,771	146,209	107,572	166,260	169,830	101,562	118,268	104,549	106,863	99,577	—	年最大 169,830
	晴天時流入水量 [m ³]	1,712,701	2,018,603	1,760,090	2,017,536	2,318,580	1,748,928	2,489,536	1,994,747	1,966,539	2,169,840	1,449,911	1,891,020	23,538,031	—
	晴天時日数 [日]	19	23	19	21	26	19	27	23	22	25	17	22	263	—
	晴天時平均 [m ³ /日]	90,142	87,765	92,636	96,073	89,176	92,049	92,205	86,728	89,388	86,794	85,289	85,955	—	年平均 89,498
	晴天時最大 [m ³ /日]	107,928	94,795	135,385	111,080	95,505	117,408	169,830	92,535	108,018	91,817	106,863	99,577	—	年最大 169,830
	雨天時流入水量 [m ³]	1,104,346	759,750	1,242,638	1,165,265	490,016	1,164,783	381,275	630,479	844,160	537,983	972,393	762,941	10,056,029	—
	雨天時日数 [日]	11	8	11	10	5	11	4	7	9	6	11	9	102	—
	雨天時平均 [m ³ /日]	100,395	94,969	112,967	116,527	98,003	105,889	95,319	90,068	93,796	89,664	88,399	84,771	—	年平均 98,589
	雨天時最大 [m ³ /日]	130,617	110,463	159,771	146,209	107,572	166,260	102,932	101,562	118,268	104,549	98,846	90,900	—	年最大 166,260
	返流水量 [m ³]	89,741	90,264	86,616	91,127	90,297	89,174	89,567	101,803	76,705	86,189	100,946	113,098	1,105,527	年平均 3,029
放流水量 [m ³]	2,737,744	2,790,828	2,950,521	3,111,738	2,828,971	2,886,010	2,845,782	2,513,418	2,624,582	2,609,718	2,338,139	2,587,222	32,824,673	—	
日平均放流水量 [m ³ /日]	91,258	90,027	98,351	100,379	91,257	96,200	91,799	83,781	84,664	84,184	83,505	83,459	—	年平均 89,931	
日最大放流水量 [m ³ /日]	125,643	112,016	153,010	135,404	110,714	166,640	176,010	94,371	106,137	100,853	101,086	98,000	—	年最大 176,010	
再生利用水 [m ³]	92,918	86,831	85,697	97,128	95,079	85,511	91,279	82,761	85,191	90,190	70,939	77,962	1,041,486	—	

○汚泥処理 (注) 不用欄の削除不可

項 目		月												計	日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
汚泥脱水処理	脱水処理量 [m ³]	11,804.7	11,635.6	11,399.2	13,470.3	11,777.6	11,267.9	12,468.2	12,448.1	12,534.6	12,204.6	10,802.9	11,380.0	143,193.7	392.3
	濃縮汚泥濃度日平均 [%]	3.82	3.72	3.76	3.78	3.68	3.61	3.62	3.56	3.47	3.94	4.10	4.33	—	年平均 3.78
	脱水機運転時間 [h:m]	1337:49	1324:06	1241:53	1567:18	1354:38	1231:03	1362:16	1259:40	1257:04	1386:25	1245:28	1314:19	15881:59	43:30
	ケ一キ発生量 [t]	1,559.30	1,503.4	1,448.8	1,801.5	1,483.0	1,394.5	1,560.1	1,509.5	1,521.2	1,684.3	1,496.3	1,547.6	18,509.5	50.7
	ケ一キ含水率日平均 [%]	73.7	73.7	73.6	74.2	74.1	73.9	74.1	74.9	74.9	74.8	73.8	73.5	—	年平均 74.1
し	し	9.55	6.84	12.19	13.73	8.87	10.45	9.75	11.45	12.69	15.12	12.76	14.91	138.31	0.38
汚泥処分	汚泥処分合計量 [t]	1,623.59	1,564.58	1,504.51	1,883.17	1,539.90	1,459.47	1,633.85	1,615.32	1,621.18	1,801.03	1,612.01	1,666.63	19,525.24	53.49
	セメント原料化 [t]	1,623.59	1,564.58	1,504.51	1,883.17	1,539.90	1,459.47	1,633.85	1,615.32	1,621.18	1,801.03	1,612.01	1,666.63	19,525.24	53.49
	〇〇 (処理方法記載) [t]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
し	し	7.14	5.67	3.04	7.72	3.98	3.65	6.66	3.28	6.07	7.33	9.52	6.47	70.53	0.19
	焼却処分 [t]	7.14	5.67	3.04	7.72	3.98	3.65	6.66	3.28	6.07	7.33	9.52	6.47	70.53	0.19

(10) 平成24年度施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番号	工事名称	整備内容
1	No. 16・13脱水機減速機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
2	員弁川幹線マンホールポンプ場汚水ポンプ分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
3	A33・34反応槽攪拌機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
4	No. 11重力濃縮槽汚泥掻寄機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
5	A3系初沈汚泥掻寄機等分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
6	No. 32送風機分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
7	No. 12砂ろ過設備分解点検工事	オーバーホール計画に基づく主要部品交換整備
8	A系PAC注入設備工事	設備老朽化にともなう修繕
9		
10		

設備故障状況及び処置概要		
年月	名称及びその状況	処置方法
24 5	煙感知器取替工事	修繕工事実施
	A系放流流量計修繕工事	修繕工事実施
	員弁川マンホールポンプ場 自家発電機 電流計指示値不良	計器取替
	NO.12脱水機 ろ布洗浄配管破損(穴)	破損部補修
24 6	新倉庫西側陥没(側溝端部)	埋戻実施
24 7	北勢、員弁マンホールポンプ場UPS/バッテリー他取替工事	修繕工事実施
	スクリーンポンプ棟スカム分離機修繕工事	修繕工事実施
	脱水機棟中央プリンター 故障	修理実施
	送風機棟NO.01冷却水ポンプ吸込みバルブ不良	部品交換
	脱水機棟東側芝地陥没	埋戻実施
	管理本館東側階段通路天井吹付け塗料劣化	劣化部除去
24 8	脱水機棟NO.13汚泥受槽攪拌機モーター不良【脱水機棟No.13汚泥受槽攪拌機駆動部修繕工事】	修繕工事実施
	場内及び公園 屋外水銀灯点灯不良	交換用部品および部品交換
	正面ゲート新聞受け破損	交換実施
	B系反応槽B-1-12嫌気槽攪拌機過負荷	夾雑物除去
	B系送風機棟電気室ACP-2 NO.3空調機漏洩堰漏れ	修繕工事実施
	A32終沈掻寄機(メイン)チェーン破断	部品交換
24 9	テニスコートネット白帯取替工事	修繕工事実施
	NO.15ろ布洗浄水ポンプ パッキン押え割れ	修繕工事実施
	A2系反応槽池上脱臭ダクト破損	修繕工事実施
	NO.13、14返流水ポンプ吸込吐出量低下(吸込みカバー摩耗)	修繕工事実施
	NO.11重力濃縮槽脱離液排出口からの脱離液越流	夾雑物除去
	管理本館自動ドア動作不良	修繕工事実施
	送風機冷却水ポンプ予備品購入	部品交換
	A3系返送汚泥流量指示値不良	部品交換
	NO. 16汚泥供給ポンプ部品破損	部品交換

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
24 10	員弁川マンホールポンプ場非常用発電機修繕工事	修繕工事実施
	NO.A42消泡水ポンプ吐出不良	修繕工事実施
	管理本館周辺陥没	修繕工事実施
	NO.32送風機冷却水量低	部品交換
	NO.03次亜塩素酸注入ポンプ圧力計隔膜破損	部品交換
	脱水機棟中央監視室エアコン	修繕工事実施
	NO.13脱水機フィルターバンド蛇行修正電磁弁E7漏れ	部品交換
	NO.16脱水機用汚泥供給ポンプカップリングロッド不良	部品交換
	B系塩素混和池サンプリングポンプ返送不良	ポンプ交換
	NO.15ポリ鉄注入ポンプダイヤフラム破損	部品交換
	1・2系PAC注入配管閉塞	閉塞物除去
24 11	管理本館2階監視室照明回路修繕工事	修繕工事実施
	A2・3系初沈電気室UPS/バッテリー他取替工事	修繕工事実施
	北部公園内木製ベンチ修繕工事	修繕工事実施
	NO.1返送汚泥ポンプグランド部腐食	修繕工事実施
	員弁川マンホールポンプ設備マンホール小蓋蝶番部摩耗	部品交換
	空気呼吸器面体締めひも破損及び接顔面ゴムパッキン劣化	部品交換
	組立式ガントリークレーン(A2系攪拌機吊上用)チェーンバケット腐食	部品交換
24 12	管理本館2階西側バルコニー出入口面台他修繕工事	修繕工事実施
	No.A54終沈汚泥掻寄機用減速機他修繕工事	修繕工事実施
	脱水機棟 交流無停電電源装置不良	修繕工事実施
	流入採水器採水不良	修繕工事実施
	流入採水器中間槽電磁弁動作不良	修繕工事実施
	流入採水器中間槽ピンチバルブ電源コード破断	部品交換
	脱水機棟 空気源装置操作盤タイマー不良	部品交換
	脱水機棟 NO.11、12排水槽天井部腐食	修繕工事実施
	脱水機棟No.12排水槽内返流水ポンプ吸込配管フランジ部劣化	補修実施
	B1系NO.21循環水計量槽水位計浮子ガイド用ワイヤー切断	部品交換
25 1	1, 2系最終沈澱池越流水路銅板修繕工事	修繕工事実施
	煙感知器他取替工事	修繕工事実施
	NO. 11脱水機汚泥供給配管ピンホール	修繕工事実施
	NO. 12脱水機汚泥供給配管ピンホール	修繕工事実施
	機械濃縮棟 砂ろ過給水ユニット電磁弁不良	部品交換
	終沈NO. A52越流水路銅板亀裂	補修実施

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
25 2	B系塩素混和池上水配管他修繕工事	修繕工事実施
	脱水機棟地下1階機械用水配管他修繕工事	修繕工事実施
	B系滅菌棟電気室 内線電話通話不良【電話交換設備修繕工事】	修繕工事実施
	送風機棟NO.01送風機補機室床排水ポンプC/Cユニット不良【床排水ポンプ他CCユニット内部品取替工事】	修繕工事実施
	脱臭機械棟電気室1 NO.A1 脱臭床給水ポンプC/C ユニット不良【床排水ポンプ他CCユニット内部品取替工事】	修繕工事実施
	脱水機ろ布破損(ろ布(加圧バンド2枚、第1重カバンド1枚)購入)	部品交換実施
	NO.A52返送汚泥ポンプグランド部汚泥漏洩【No.52A返送汚泥ポンプ修繕工事】	修繕工事実施
	NO. A41 初沈池排水ポンプ逆止弁不良	修繕工事実施
	B系,T-N,T-P計純水供給配管発錆による純水供給量低下	部品交換
	NO.15ろ布洗浄水ポンプシャフト及びインペラ不良【No.15ろ布洗浄水ポンプ他修繕工事】	修繕工事実施
	員弁川マンホールポンプ自家発電機不足電圧	修繕工事実施
	A2・3系初沈電気室 ミニUPSアラーム表示点灯	修繕工事実施
	A系残留塩素計送液ポンプ不良	修繕工事実施
	管理本館1階北側扉からの雨水流入【管理本館2階東側バルコニー出入口面台他修繕工事】	修繕工事実施
	管理本館屋内倉庫天井雨漏り【管理本館2階東側バルコニー出入口面台他修繕工事】	修繕工事実施
	脱水機棟 2系SQC AOカード不良	部品交換
	A系ブロワ吸込温度指示値不良	調整実施
	A21初沈汚泥掻寄機(メイン)電流計不良	部品交換
	B系NO.12送風機インレットベーン電油モータ用圧力計破損	部品交換
	B系塩素混和池 サンプリング返送ポンプ不良	ポンプ交換
	終沈NO. A51 越流水路銅板剥離	補修実施
25 3	No.16汚泥脱水機用減速機修繕工事	修繕工事実施
	伏越室残留塩素計修繕工事	修繕工事実施
	伏越室無停電電源装置取替工事	修繕工事実施
	機械濃縮NO.11空気圧縮機露点温度高【機械濃縮No.11空気圧縮機エアードライヤー修繕工事】	修繕工事実施
	A系循環ポンプメカニカルシール予備品購入	部品交換
	B1系池排水配管ポンプグランド部漏水過多【B1系終沈池排水ポンプ修繕工事】	修繕工事実施
	1系終沈散水配管腐食	修繕工事実施
	脱水機棟地下機械用水配管腐食【脱水機棟地下1階機械用水配管他修繕工事】	修繕工事実施
	脱水機棟 NO.14汚泥供給ポンプ VSコントロール不良	修繕工事実施
	Y型ストレーナー スクリーン劣化	部品交換
	B1系NO.11循環水計量槽水位計指針用ワイヤー切断	部品交換
	B系放流採水器用サンプリングホース内の藻発生	部品交換

(11)水質試験業務

ア. 流入、放流水質試験

項目 月	気温	水温			透視度			pH			SS			BOD			COD			溶解性TOC		
	°C	°C			度			-			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l		
単位		流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	14.7	18.4	18.9	18.8	5	100	100	7.7	6.7	6.7	200	2	2	160	2.0	2.0	100	6.9	6.9	22	5.2	6.2
5月	20.9	20.8	21.6	21.6	5	100	100	7.6	6.8	6.8	210	2	<1	180	1.9	1.9	100	7.1	7.1	24	5.4	6.0
6月	23.6	22.6	23.3	23.3	6	100	100	7.6	6.8	6.8	200	2	<1	170	1.0	1.0	97	6.3	6.3	18	5.3	6.2
7月	29.1	23.8	25.0	24.9	6	100	100	7.5	6.8	6.8	190	2	<1	160	1.7	1.7	96	6.4	6.4	20	4.9	5.8
8月	30.4	26.2	27.3	27.4	6	100	100	7.4	6.8	6.8	200	2	<1	160	1.4	1.4	100	6.5	6.5	22	5.2	5.8
9月	26.6	26.6	27.0	27.1	6	100	100	7.4	6.8	6.8	180	2	2	130	1.2	1.2	97	6.6	6.6	26	5.0	6.0
10月	19.6	24.3	24.8	24.8	7	100	100	7.5	6.8	6.8	180	3	1	160	1.4	1.4	99	7.1	7.1	18	4.5	5.2
11月	11.6	21.4	21.9	21.7	6	100	100	7.5	6.8	6.8	200	2	2	210	1.3	1.3	110	7.0	7.0	22	4.9	6.6
12月	4.8	19.4	18.9	18.9	6	100	100	7.6	6.8	6.7	180	2	2	190	2.1	2.1	99	7.5	7.5	22	4.9	5.4
1月	4.3	17.3	17.3	17.2	6	100	100	7.7	6.7	6.7	210	3	2	190	2.5	2.5	110	7.8	7.8	34	5.4	4.7
2月	4.1	16.0	16.7	16.6	6	100	100	7.7	6.8	6.7	200	2	2	200	2.1	2.1	110	8.0	8.0	28	5.0	5.2
3月	9.1	17.0	18.0	17.8	6	100	100	7.7	6.7	6.7	220	3	2	220	2.4	2.4	110	7.9	7.9	28	5.7	5.0
最高	33.0	26.8	28.2	28.0	10	100	100	7.9	7.0	7.1	380	25	5	360	3.8	3.8	220	15	15	34	6.2	7.4
最低	0.5	16.0	16.0	15.9	4	70	80	7.2	6.6	6.5	110	<1	<1	110	0.7	0.7	69	5.5	5.5	13	4.1	4.1
平均	16.6	21.2	21.7	21.7	6	100	100	7.6	6.8	6.8	200	2	1	180	1.8	1.8	100	7.1	7.1	24	5.1	5.7
測定回数	245	25	245	244	243	245	242	245	245	244	243	245	241	47	49	49	243	245	245	24	24	24
放流基準値			-			-		5.8~8.6			40			15			25(20)					-

項目 月	大腸菌群数			遊離残留塩素			全蒸発残留物			強熱減量			塩化物イオン			よう素消費量			全窒素			
	個/cm ³			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			
単位	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	
4月	76000	67	52	-	0.01	0.01	510	360	360	200	34	39	99	97	97	17	-	-	27	7.3	6.6	
5月	110000	100	62	-	0.01	0.01	540	320	320	260	61	52	70	67	68	17	-	-	27	6.8	6.6	
6月	170000	64	50	-	0.01	0.01	500	300	310	220	42	41	94	87	86	16	-	-	24	6.2	5.6	
7月	120000	35	84	-	0.02	0.02	560	360	340	230	67	48	96	88	88	19	-	-	21	6.2	6.4	
8月	160000	22	46	-	0.02	0.01	580	390	380	250	66	78	110	100	99	19	-	-	23	6.8	7.3	
9月	110000	22	52	-	0.02	0.02	590	380	400	250	50	52	100	91	89	18	-	-	24	6.5	7.3	
10月	110000	150	210	-	0.01	0.01	560	400	390	230	77	74	120	120	110	20	-	-	25	6.9	7.0	
11月	82000	180	200	-	0.01	0.01	620	400	400	220	57	61	120	120	120	16	-	-	26	6.9	8.3	
12月	58000	140	140	-	0.01	0.01	560	360	370	220	25	40	100	110	110	15	-	-	27	7.3	8.4	
1月	95000	130	150	-	0.01	0.01	690	460	460	280	88	86	110	110	110	16	-	-	34	7.6	7.8	
2月	78000	240	84	-	0.01	0.01	580	380	380	230	56	45	120	110	110	14	-	-	32	7.5	8.3	
3月	78000	130	130	-	0.01	0.01	710	440	440	320	68	70	120	110	100	15	-	-	29	7.1	6.9	
最高	210000	410	460	-	0.05	0.03	780	480	500	340	100	100	130	130	130	23	-	-	46	8.9	10	
最低	360000	1	0	-	0.01	<0.01	450	290	310	180	22	28	65	55	63	11	-	-	17	4.8	4.2	
平均	100000	110	110	-	0.01	0.01	580	380	380	240	58	57	100	100	100	17	-	-	27	6.9	7.2	
測定回数	48	99	99	-	245	244	24	24	24	24	24	24	50	51	49	51	-	-	99	100	98	
放流基準値		3000			-			-			-			-			-				13	

月	NH ₄ ⁺ -N			NO ₂ ⁻ -N			NO ₃ ⁻ -N			全りん			PO ₄ ³⁻ -P			n-ヘキサン抽出物質			フェノール類			陰イオン界面活性剤			
	mgN/l			mgN/l			mgN/l			mg/l			mgP/l			mg/l			mg/l						
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	
4月	16	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	6.7	6.0	3.1	0.7	0.6	0.9	0.5	0.5	24	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.2	<0.1	<0.1	
5月	16	<0.1	0.3	0.6	<0.1	<0.1	0.2	6.3	5.9	3.2	0.8	0.6	1.1	0.6	0.5	24	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	2.6	<0.1	<0.1	
6月	14	<0.1	0.2	0.5	<0.1	<0.1	0.3	5.8	5.0	3.4	0.8	0.6	1.1	0.6	0.5	22	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	2.7	<0.1	<0.1	
7月	12	<0.1	0.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5.5	5.5	3.2	0.6	0.5	0.9	0.4	0.3	21	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	1.8	<0.1	<0.1	
8月	14	<0.1	0.2	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	6.2	6.4	3.2	0.4	0.3	1.1	0.3	0.2	23	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.5	<0.1	<0.1	
9月	13	0.2	0.5	0.3	<0.1	<0.1	0.2	6.0	6.3	3.1	0.4	0.3	1.1	0.3	0.2	20	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.5	<0.1	<0.1	
10月	12	0.2	0.5	0.5	<0.1	<0.1	2.0	6.2	6.1	3.2	0.7	0.2	1.1	0.4	<0.1	25	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	2.8	<0.1	<0.1	
11月	14	0.1	1.3	0.3	<0.1	<0.1	2.8	6.0	6.4	3.1	0.5	0.3	1.3	0.4	0.2	24	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.2	<0.1	<0.1	
12月	17	<0.1	0.2	0.2	<0.1	<0.1	2.5	6.3	7.0	3.3	0.3	0.3	1.5	0.2	0.2	22	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.8	<0.1	<0.1	
1月	18	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.1	6.7	7.2	4.2	0.3	0.5	1.6	0.2	0.4	24	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.8	<0.1	<0.1	
2月	19	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	6.4	7.4	3.4	0.3	0.4	1.2	0.2	0.2	25	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	4.1	<0.1	<0.1	
3月	19	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	6.6	6.2	3.0	0.4	0.5	1.2	0.3	0.4	24	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	4.0	<0.1	<0.1	
最高	28	1.4	3.0	1.3	<0.1	0.2	4.2	7.9	8.1	7.0	0.9	0.9	2.9	0.8	0.7	28	<0.5	0.9	<0.1	<0.1	<0.1	4.8	<0.1	<0.1	
最低	8.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	4.2	3.8	1.5	<0.1	<0.1	0.6	<0.1	<0.1	17	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	1.4	<0.1	<0.1	
平均	15	<0.1	0.3	0.2	<0.1	<0.1	0.8	6.2	6.3	3.3	0.5	0.4	1.2	0.4	0.3	23	<0.5	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	3.2	<0.1	<0.1	
測定回数	99	100	98	99	100	98	99	100	98	100	102	100	99	100	98	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値			-			-			-		1.4				-			10			1				-

月	銅			亜鉛			溶解性鉄			溶解性マンガン			全クロム			カドミウム			全シアン			有機りん			
	mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l						
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	
4月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
5月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
6月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
7月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
8月	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
9月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
10月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
11月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
12月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
1月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
2月	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
3月	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
最高	<0.1	<0.1	<0.1	0.3	0.1	0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
最低	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
平均	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値			1			2			10			10			2			0.1			1			1	

月	チウラム			シマジン			チオベンカルブ			ベンゼン			セレン			ふっ素			ほう素			アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計		
	mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l			mg/l		
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	7.6	7.0	7.0
5月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	9.8	7.0	6.8
6月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	5.8	5.7	5.6
7月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	5.0	4.8	4.9
8月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	6.0	6.4	7.4
9月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	6.2	5.6	7.4
10月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	8.6	6.8	7.9
11月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	9.2	6.2	8.0
12月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	10	6.8	8.2
1月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	9.1	6.1	7.8
2月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	8.2	6.7	8.2
3月	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	8.4	6.4	7.9
最高	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	12	7.7	9.2
最低	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	4.2	3.6	3.2
平均	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	7.8	6.3	7.3
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		0.06			0.03			0.2			0.1			0.1		15			230				100	

月	1,4-ジオキサン			ダイオキシン類		
	mg/l			pg-TEQ/L		
項目	流入	放流A	放流B	流入	放流A	放流B
4月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
5月	<0.05	<0.05	<0.05	0.67	0.00080	0.00062
6月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
7月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
8月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
9月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
10月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
11月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
12月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
1月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
2月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
3月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-
最高	<0.05	<0.05	<0.05	0.67	0.00080	0.00062
最低	<0.05	<0.05	<0.05	0.67	0.00080	0.00062
平均	<0.05	<0.05	<0.05	0.67	0.00080	0.00062
測定回数	24	24	24	1	1	1
放流基準値		0.5			10	

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、「100度」として算出している。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の()内の数値は日間平均値を示す。

ウ. 脱水汚泥試験

(ア) 溶出試験

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最 低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平 均	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロパン	テトラム	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最 低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平 均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ベンゼン	セレン
単位	mg/l	mg/l
5月	<0.01	<0.01
8月	<0.01	<0.01
11月	<0.01	<0.01
2月	<0.01	<0.01
最 高	<0.01	<0.01
最 低	<0.01	<0.01
平 均	<0.01	<0.01
測定回数	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(イ) 溶出試験(し渣・沈砂)

項目 月	検体種類	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	検出せず	<0.0005	<0.01	0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03
1月	沈砂	検出せず	0.0009	<0.01	0.03	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03

項目 月	検体種類	テトラクロ エチレン	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロパン	テトラム
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
1月	沈砂	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006

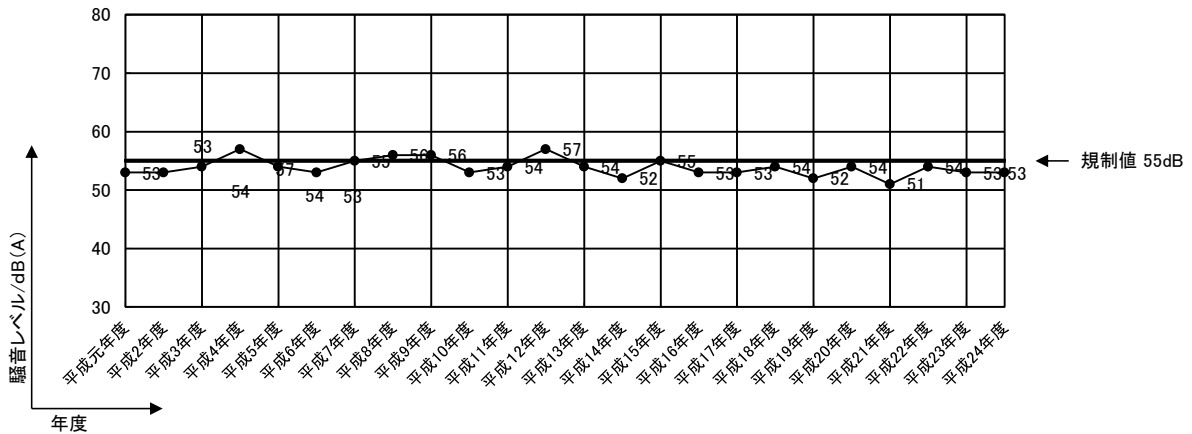
項目 月	検体種類	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01
1月	沈砂	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(北部浄化センター)

ア.騒音調査(夜間)



備考 1.各年度の最高値を記入(2地点×4回/年実施)
2.基準値は太線で表示

イ.悪臭調査

(ア)臭覚測定

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
臭気指数		-	-	-	-	-	-	<10	12	<10	<10	28	<10	14	<10
臭気濃度		-	-	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	630	<10	23	<10
臭気強度		-	-	1	<1	<1	<1	1.3	1.5	<1	<1	4.5	<1	2.5	<1

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24				
臭気指数		<10	<10	<10	<10	<10	17	50	<10	12	<10				
臭気濃度		<10	<10	<10	<10	<10	49	17	<10	16	<10				
臭気強度		<1	<1	<1	<1	<1	-	-	-	-	-				

備考 1. 各年度の最高値を記入(6地点×6回/年)

(イ)機器試験

(単位:ppm)

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
アンモニア		<0.1	<0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	<0.1	<0.1
メチルメルカプタン		<0.0005	<0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0059	0.0019	0.0042	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素		<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.180	0.300	0.033	0.008	0.001	<0.001	0.010	0.004	<0.002	<0.002
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.0005	<0.0005	0.0017	<0.0005	0.0007	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.001	<0.001
二硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009	<0.0009

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24				
アンモニア		<0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2	<0.1	<0.1	0.2	<0.1				
メチルメルカプタン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0006	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002				
硫化水素		<0.002	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.009	0.003	<0.002	<0.002	<0.002				
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001				
二硫化メチル		<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009				

備考 1. 各年度の最高値を記入(6地点×6回/年実施)
2. 他に放流水中の悪臭4物質試験も実施しているが、全て報告下限値未満であった。

ウ.水質調査

(生活環境項目)

(単位:表示のないものはmg/l)

項目 \ 年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	環境基準
透明度(m)	0.6	1.7	0.7	1.5	0.9	1.5	0.9	1.5	1.2	1.3	0.3	1.0	1.8	1.2	—
pH	7.3-8.2	8.1-8.6	8.0-8.6	7.4-8.7	8.0-8.4	7.8-8.3	7.5-8.7	7.6-8.6	7.4-8.7	7.8-8.5	7.6-8.3	7.7-8.7	7.5-8.6	7.6-8.2	7.8~8.3
溶存酸素	4.1-9.1	6.6-9.7	6.7-13	4.8-12	5.3-11	4.4-8.9	6.3-11	6.3-13	5.1-12	5.3-11	6.1-8.4	7.1-11	6.4-9.8	6.6-9.2	5mg/l以上
COD	6.1	2.7	5.4	5.7	4.6	4.2	6.2	6.2	8.0	5.4	3.7	6.9	4.1	3.6	3mg/l以下
全窒素	1.40	0.55	0.74	1.40	1.60	1.70	3.10	2.50	6.30	1.60	1.50	1.90	2.53	2.91	0.3mg/l以下
全りん	0.130	0.060	0.094	0.220	0.099	0.230	0.210	0.071	0.064	0.099	0.063	0.095	0.331	0.181	0.03mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	検出されないこと
塩素イオン	17,000	17,000	18,000	18,000	18,000	19,000	18,000	17,000	18,000	17,000	18,000	14,000	17,000	16,400	—
陰イオン界面活性剤	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
大腸菌群数(MPN/100ml)	920	1,700	2,700	220	1,300	1,100	13,000	220	7,900	220	16,000	16,000	540	3,500	—
全亜鉛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—

項目 \ 年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24					環境基準
透明度(m)	1.0	1.0	1.5	2.5	2.0	1.5	0.9	0.8	1.1	0.8					—
pH	7.5-8.3	7.3-8.9	7.8-8.7	7.4-8.4	7.4-8.2	7.6-8.2	6.8-8.1	7.3-8.0	7.7-8.9	7.6-8.4					7.8~8.3
溶存酸素	4.1-10	5.5-13	5.2-11	4.8-7.3	5.8-10	3.9-9.6	3.8-9.2	4.5-8.8	2.4-12	5.5-12					5mg/l以上
COD	4.2	5.8	4.3	6.4	3.8	5.3	3.5	4.8	5.0	7.7					3mg/l以下
全窒素	1.95	1.90	1.10	1.80	1.40	1.90	2.0	2.5	1.7	1.9					0.3mg/l以下
全りん	0.117	0.120	0.092	0.170	0.130	0.150	0.15	0.22	0.17	0.14					0.03mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5					検出されないこと
塩素イオン	17,000	16,000	17,000	18,000	17,000	16,000	16,000	16,000	19,000	14,000					—
陰イオン界面活性剤	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05					—
大腸菌群数(MPN/100ml)	1,100	790	1,700	3,500	1,400	7,900	790	9,200	16,000	16,000					—
全亜鉛	-	-	-	-	-	-	-	0.026	0.025	0.032					—

備考 1. 放流口最寄地点における最高値(6回/年実施)。但し透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を記入。
 2. 他に健康項目26項目(平成12年度までは23項目)の調査(1地点×3回/年)を実施している。

エ.底質調査

(乾泥あたり含有量)

(単位:表示のないものはmg/kg)

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
COD(mg/g)		35	6.6	17	9.2	17	4.3	10	9.1	7.4	8.7	9.6	9.0	13	6.0
n-ヘキサン抽出物質		490	440	280	660	<50	<50	89	89	<50	300	1900	240	340	100
カドミウム		0.21	0.13	<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛		25	13	25	18	15	17	9.3	9.2	12	14	14	14	21	22
六価クロム		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
全クロム		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砒素		6.4	5.0	7.3	6.7	4.5	4.3	7.1	2.0	5.2	2.9	1.7	1.4	6.8	8.1
総水銀		0.18	0.05	0.18	0.13	0.10	0.17	0.07	0.14	0.09	0.12	0.11	0.09	0.10	0.07
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)		0.88	0.56	1.4	1.1	0.88	0.90	0.48	0.45	0.50	0.86	0.87	0.70	1.1	0.70
全りん (mg/g)		0.46	0.34	0.38	0.47	0.21	0.52	0.72	0.68	0.05	0.09	0.07	0.03	0.34	0.81
硫化物 (mg/g)		0.12	0.19	0.65	0.19	0.72	0.26	0.26	0.21	0.32	0.30	1.60	0.60	0.24	0.89
含水率 (%)		51.0	31.0	33.0	32.0	29.0	30.0	23.0	25.0	24.0	26.0	29.6	29.8	36.6	28.4
強熱減量 (%)		5.8	3.0	6.1	5.2	4.4	4.2	3.7	3.8	3.3	3.9	4.4	3.9	5.1	3.9

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24				
COD(mg/g)		6.4	7.0	14.0	14.0	9.0	9.0	12	13	13	12				
n-ヘキサン抽出物質		140	430	900	710	590	590	810	200	290	660				
カドミウム		0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.5	<0.1	<0.1	<0.1				
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1				
鉛		19	16	19	22	14	18	19	16	14	17				
六価クロム		<1	-	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1				
全クロム		-	11	-	-	-	-	-	-	-	-				
砒素		6.6	5.1	3.5	4.3	5.4	5.6	8.0	7.3	6.9	5.8				
総水銀		0.10	0.08	0.09	0.07	0.08	0.10	0.09	0.06	0.08	0.08				
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				
ポリ塩化ビフェニル		<0.05	<0.05	0.01	<0.05	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05				
全窒素 (mg/g)		0.80	0.70	1.2	0.60	0.90	0.90	1.3	0.80	0.70	0.8				
全りん (mg/g)		0.97	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40	0.50	0.40	0.40	0.4				
硫化物 (mg/g)		0.44	0.62	0.17	0.42	0.28	0.20	0.22	0.15	0.05	0.15				
含水率 (%)		29.9	32.0	35.0	32.0	32.0	34.0	32.0	31.8	28.8	31.8				
強熱減量 (%)		5.0	3.9	5.6	4.3	3.8	4.7	4.6	4.1	3.8	5.2				

備考

- 1 放流口最寄地点における値を記入(1回/年実施)
- 2 他に溶出試験として7項目を実施(1回/年)しているが、放流口最寄地点(3地点)で全て報告下限値未満であった。